



貝塚市議会だより



発行部数： 31,000部 発行 貝塚市議会 編集 市議会だより編集委員会 〒597-8585 泉中1丁目17番1号 電話(433)7311
印刷単価： 8.59円 ホームページ <https://www.city.kaizuka.lg.jp/shigikai/> メール gikai@city.kaizuka.lg.jp

令和8年第2回(6月)定例会 市立ひと・ふれあい館条例制定の件など可決

令和8年第2回(6月)定例会は、6月2日から6月29日までの28日間の会期で開催しました。

全会一致で可決・承認・同意・賛成した案件



以下の各案件の詳細(議案書)

案件	概要
処分報告 市税条例の一部改正の件	法改正に伴い、条例を改正するにあたり、市議会を招集する時間的余裕がないことから専決処分を行ったものの報告。 ○軽自動車税環境性能割の廃止など
市税条例の一部を改正する条例制定の件	法改正に伴い、固定資産税の免税点の見直しなどを行うための改正。
土地改良事業、耕地災害復旧事業分担金等条例の一部改正の件	農業用施設整備事業(ため池を除く。)に係る分担金について、国が定める指針に準じ、受益者が負担すべき比率を現行100分の20から100分の15に改定するほか、所要の規定の整備を行うための改正。
市立ひと・ふれあい館条例制定の件	新たに市立ひと・ふれあい館を設置するほか、所定の規定の整備を行うため、条例を制定。 ○位置 東84番地1 ○施設の概要 隣保館、地域交流センター、公衆浴場 ○施行日 令和9年4月1日
市立福祉センター条例の一部改正の件	市立ひと・ふれあい館の設置に伴い、貝塚市やすらぎ老人福祉センターを廃止するほか、所要の文言整理を行うための改正。 ○施行日 令和9年4月1日
市立青少年センター条例の一部改正の件	市立ひと・ふれあい館の設置に伴い、市立青少年人権教育交流館を廃止するための改正。 ○施行日 令和9年4月1日
市立幼保連携型認定こども園条例の一部改正の件	市立三ツ松認定こども園を廃止するための改正。 ○施行日 令和11年4月1日
市立幼稚園条例の一部改正の件	市立北幼稚園を廃止するための改正。 ○施行日 公布の日から起算して2年を超えない範囲内において規則で定める日
病院事業の設置等に関する条例の一部改正の件	本市病院事業として経営する病院の診療科目として、新たに「救急科」を追加するための改正。 ○施行日 令和8年7月1日
令和8年度一般会計補正予算(第2号)の件	二色浜駅前広場等整備事業などのため歳入歳出それぞれ2億7,338万7千円を追加する補正。
令和8年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)の件	一般会計繰出金75万2千円を追加する補正。
令和8年度病院事業会計補正予算(第1号)の件	一般会計負担金1,600万円を追加する補正。
大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に 関する協議について議決を求める件	「社会保険診療報酬支払基金」の名称が「医療情報基盤・診療報酬審査支払機構」に変更されることから、大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更することについて、関係市町村と協議するため、議会の議決を求めるもの。
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更 及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に 関する協議について議決を求める件	大阪広域水道企業団の共同処理する事務に泉大津市、箕面市及び門真市に係る水道事業の経営に関する事務の追加並びにこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更について、関係市町村と協議するため、議会の議決を求めるもの。
訴訟上の和解について議決を求める件	岸和田簡易裁判所に係属中の不当利得返還請求事件について、訴訟上の和解をするため、議会の議決を求めるもの。
公平委員会委員の選任について同意を求める件	南田恭平氏を任命することについて同意を求めるもの。
固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を 求める件	古谷廣道氏を選任することについて同意を求めるもの。
農業委員会委員の任命について同意を求める件	農業委員会委員14名を任命することについて同意を求めるもの。
人権擁護委員の候補者推薦について意見を求める件	西納貢氏を推薦することについて意見を求めるもの。

議会議案

意見書

6月29日の本会議で次の意見書を可決し、関係各機関に送付しました。

- 石油由来製品の供給不足及び燃料価格高騰に伴う中小零細事業者への影響に対する対策強化を求める意見書
- 核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書

議会議案は全て全会一致で可決しました。

病院問題対策特別委員会設置の件

市立貝塚病院において厳しい経営状況が続いていることから、今後の経営について調査・研究するため特別委員会を設置する。

閉会中の委員会の継続調査の件

病院問題対策特別委員会が議会閉会中も継続して調査する。

表彰

議員活動を通じ、地方自治の発展と市政振興に永年貢献された功績に対し、全国市議会議長会から表彰を受けました。

正副議長 4年表彰

15年表彰

15年表彰



田畑 庄司議員



阪口 勇議員



川岸 貞利議員

の防災意識の高まりを実感しています。
市民の資格取得につきましては、自主防災組織の活動助成金のメニューの対象としておりません。
また、資格取得には大阪市内で2日間わたって研修を受講する必要があります、金銭以外

の負担もあります。
しかし、受講者が50人以上であれば地元地域で講座を開催できる制度があるため、市では職員や市民がより受講しやすくなるよう、貝塚市内での防災士研修講座の開催に向けて検討してまいりたいと考えております。

高齢者の方が安心して暮らせるまちづくりについて

【問】日本の総人口が減る中、高齢化率は貝塚市も増加しています。
その一方で、ふれあい喫茶が活発に開催され、高齢者の方が大変活躍されております。これらを踏まえ、次の3点について質問します。

《新政クラブ》阪口 芳弘

スマートシュリンク（賢く縮小・再配置）について



【問】人口減少が進む中、都市や地域の機能をコンパクト化し持続可能性を高める「スマート・シュリンク（賢い縮小）」の必要性が増しています。また、人口減少により、自治体はより厳しい財政運営になると考えられるため、行政の形を変えていく必要があります。

まず、公共施設の維持について将来的にどのように予測され、どのように計画しているかについて伺います。

【答】公共施設においては、貝塚市公共施設等総合管理計画にて解体・新設・修繕費用の更新費用を算定しており、施設の長寿命化を図りながら、維持費用を抑制するための取組を推進しているところです。

【問】また、官民連携の取組が必要であると考えますが、いかがでしょうか。

【答】官民連携の取組において

は、除却した市営住宅跡地の有効活用として、民間施設としての活用や戸建て住宅用地としての売却を実施しております。今後の行政運営においては、官民連携も含め、様々な手法を活用し、市民サービスの維持・向上と合理化を両立していく必要があると考えております。

【問】上下水道の老朽化の問題について、市としてどのように考えているか伺います。

【答】上下水道事業では、水需要の減少を見据えて老朽管更新時の統廃合やダウンサイジングも検討し、下水道では費用対効果の高いエリアを優先して整備していく方針です。

【問】市民の方から特に要望が多い「医療・買い物」と、それらを支える「移動のための交通手段」について、今後、市としてどのように考えているか伺います。

【答】「医療・買い物」と、そ

ていたればと考えますが、いかがでしょうか。
③ふれあい喫茶が大切な場所であることを、より多くの市民に知ってもらうための周知活動に対する市の考えについてお聞かせください。
【答】①高齢者が地域で役割を持つ活動することで、生きがい作りや介護予防につながることを目的としています。
具体的には、電球交換・ゴミ出し・見守り活動といった日常生活の支援や、買い物・通院時の移動支援にかかる経費を補助します。
②支援が必要な方や新たな担い手の参加につながるよう、広報紙やホームページ等で周知・啓発に努めます。
また、活動団体の意向も伺いながら、効果的な活動内容の発信について検討してまいります。
③ふれあい喫茶は、身近な場所ので気軽に集い、住民同士の

その他の質問

- 公民連携について
- ふるさと納税について
- 観光振興について
- 行政DX及びAIの利活用について
- 公園墓地について
- がん対策について
- 子育て環境の充実について
- JR和泉橋本駅山側地区周辺整備について
- 上下水道について
- 市立貝塚病院について
- 学校教育について

交流や健康増進、介護予防を担う大切な場であると認識しています。
より多くの市民に活動への理解を深めてもらうため、どのように情報発信していくかは、貝塚市社会福祉協議会と意見交換を行うなどして連携してまいります。

物価高騰対策について

【問】近年、原材料の高騰、エネルギー価格の上昇、円安などを背景にデフレからインフレへ移行した日本経済ですが、食料品などの広範な値上げが市民生活を直撃しており、重い負担となっています。国からの物価高騰対応重点支援地方創生交付金を財源に各自自治体が独自施策を講じてきたですが、本市では、生活困窮者や子育て世帯など、物価高騰の影響を受けやすい方々をはじめ、市民の生活を支えるために、どのような支援策を考えていますか。

【答】本市は、物価高騰対策として、国の交付金を活用し、

クとな市街地の形成を進めるとともに、多様な交通手段を活用した公共交通ネットワークの構築に取り組んでまいります。

その他の質問

- 貝塚市内の主要駅の整備について
- 「若者や子育て世帯から選ばれるまちづくり」について
- 「想いを形にするまちづくり」について
- 選ばれるまち貝塚について
- 二色の浜海水浴場について
- 祭礼対策について
- 産業戦略について
- 伝統的工芸品産業支援について
- 人材確保について
- 防犯について
- 三館等施設統合について
- 保育所・認定こども園に対する支援について
- 第3期貝塚市子ども・子育て支援事業計画について
- 南海貝塚駅周辺事業について
- 地域公共交通について
- 子ども読書習慣について
- デジタル教科書の問題点について

一般質問から



6月17日に行われた一般質問について
その一部を要約し、お知らせします。

《無会派》小谷 真章 高齢者補聴器購入費用助成事業について

【問】現在、本市の補聴器の購入費用助成制度は、非課税世帯であることが条件の1つとなっております。
周辺自治体では、1人でも多くの高齢者を救うために所得制限を緩和し、課税世帯まで補聴器の助成対象を広げています。
補聴器の普及は、中長期的に認知症やフレイルを防ぎ、医療・介護費の財政負担を減らす効果もあります。
予算に不用額が出ているのですから、新たに予算を増やさずとも、対象を課税世帯へ拡大して高齢者の活発な活動を後押しすべきではないでしょうか。

【答】本事業は経済的な理由で購入できない低所得者を支援する趣旨であり、課税世帯についてはご自身で購入できるという判断です。
また、予算の不用額は出ておりますが、そのことにより対象を拡充するという性質のものではありません。
高齢者のフレイル予防については、補聴器だけでなく健康教室など他の様々な施策で総合的に対応しています。
現時点で本制度を拡充する考えはありませんが、今回いただきました提案につきましても調査研究をさせていただきます。

その他の質問

- 市立小・中学校における教職員の休憩時間の取得状況について

《無会派》樽谷 庄道 学校における校外活動及び部活動遠征時などの安全確保と、修学旅行における平和学習の適切な実施について

【問】学校の校外活動や部活動遠征での相次ぐ死亡事故を受け、国は安全確保の徹底を求める通知を出しました。各活動には高い教育的意義があるものの、子供の命と安全が最優先です。
また、平和学習は戦争の悲惨さ等を学ぶ極めて重要な機会ですが、内容の把握や配慮、保護者への丁寧な説明が求められています。
本市における安全対策と平和学習の内容について、お聞かせください。

【答】本市では、修学旅行等を実施する際には、各学校から事前に計画書を求め、行程や引率体制、安全管理面等の確認を行い、必要に応じて指

導・助言を行っています。また、貸切バスを利用する際は、運送引受書の提出を受け、当日においても車両ナンバー等を確認し、安全な運行体制の構築に努めるように指導しています。

平和学習の内容については、教員が事前に必ず現地へ下見に行き、講話内容等を確認しています。
多面的・多角的な視点を確保するため、特定の立場に偏らない多様な資料を活用するとともに、一つの事象に対して異なる見解や背景があることを児童生徒自ら比較考察できる授業づくりを推進してま

す。



代表質問

令和8年度市政運営方針等に対して、各会派を代表して4名の議員が代表質問を行いましたので、その一部を要約しお知らせします。



《大阪維新の会》中西 真知子

青少年のインターネットやAIの利用環境について



【問】インターネットは学習や情報収集に有効ですが、SNSによる誹謗中傷やネットいじめなど、さまざまな課題があります。近年は児童生徒が悩みを生じ、AIに相談する例も増え、依存や誤情報によるトラブルが生じないかも心配されます。学校現場では生成AIの利用実態やSNS上のトラブルについてどのように把握し、

対応されていますでしょうか。

【答】児童生徒のインターネットやSNS利用の実態については、教育相談やアンケート、保護者との連携等を通じて把握に努めています。SNS上のトラブルが確認された際は、速やかに事実確認を行い、専門人材や関係機関と連携して、被害児童生徒への支援と加害児童生徒への指導を行っています。

ネットリテラシー教育について

【問】文部科学省のホームページ内の「情報モラル教育ポータルサイト」のようなツールを利用して、リスクやモラル、マナーに対する学習を家庭でも積極的に取り入れていくよう啓発していく事も有効であると考えますがいかがでしょうか。

【答】ネットリテラシー教育の推進には、保護者との連携が重要であると認識しています。文部科学省の「情報モラル教育ポータルサイト」の教材や啓発資料についても、学校への周知を図り、児童生徒への指導や保護者への啓発に積極的に活用してまいります。

市立貝塚病院について

【問】病院の経営検証や経営形態の検討にあたっては、医師確保や救急医療体制の充実など、市民が求めている医療機能強化の観点も含めた検討が必要と考えるが、市の見解を伺います。

【答】医師確保や救急医療体制の強化につきましては、市民の安心・安全に直結する重要な課題であると認識しております。市立貝塚病院経営検証委員

会では、収支改善の視点に加

え、地域に必要な医療機能をいかに確保し、充実させていくかという観点も含めて検証を進めてまいりたいと考えております。病院経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。議員の皆様とも議論を重ねながら、市民が安心して必要な医療を受けることができる持続可能な病院体制の実現に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

その他の質問

- 市政の方向性について
- 総務部に関連する主要事業と関連事業について
- 危機管理部に関連する主要事業と関連事業について
- 健康福祉部に関連する主要事業と関連事業について
- 子ども部に関連する主要事業と関連事業について
- 都市整備部に関連する主要事業と関連事業について
- 上下水道部に関連する主要事業と関連事業について
- 消防本部に関連する主要事業と関連事業について

企業誘致について

【問】データセンターはこれから増えていくAI活用などを見据えた施設で、まちの発展に欠かすことができません。誘致が実現すれば固定資産税収の増加や雇用創出など地域経済への効果も期待できます。その一方で広大な用地と電力確保、景観への配慮が課題ですが、市の見解を伺います。

【答】本市においても大阪府と意見交換を行うとともに、本

《自由市民》食野 雅由

JR和泉橋本駅山側地区について



【問】JR和泉橋本駅山側地区は、過去に2度、計画が白紙に戻り開発が遅れてしまいが、現在は土地区画整理事業準備組合が設立され、地権者への説明会においても同意が集まりつつあります。しかし、物価高騰による工事費の増加や高い減歩率の見込みといった新たな課題に直面しており、産みの苦しみが生じてきています。本事業は貝塚市全体に大きな影響を及ぼすビッグプロジェクトであるため、市のさらなる支援や今後の協力体制についての考えをお示しく

【答】JR和泉橋本駅山側地区の土地区画整理事業は、本市のさらなる成長発展に不可欠な中核事業です。市はこの時機を逃さず、事

業実現に向けて全力で支援してまいります。現在は地権者の同意率向上を目指して準備組合を支援しており、今後も都市計画決定や隣接府道の拡幅のための大阪府との協議に加え、本格的な区画整理事業開始に向けて国及び府に交付金などを要請するなど多面的に支援を行ってまいります。

【問】本事業に対する市長の思いをお聞かせください。

【答】本事業は、大規模なまちづくりを成功させるまたとない重要な時機を迎えており、今年度はそこに挑戦できる最終年度と考えております。市のトップとして、関係各所へ働きかけるとともに、市民のご理解ご協力を得られるよう全力で取り組んでまいります。

危機管理について

【問】日本の地域防災を取り巻く環境が厳しさを増す中、地域防災力の向上は喫緊の課題です。貝塚市においても自主防災組織の組織力向上や避難所運営訓練などは、いざという

きに大いに役立つことになると考えられ、市民の防災意識の向上につながっています。さらなる防災意識向上に向けた本市の今後の取組や考え方についてお示しく

【答】地域防災力は自助・共助・公助が一体となつて最大限に発揮できるものと考えます。自助としてマイナ

公助が一体となつて最大限に発揮できるものと考えます。自助としてマイナ

また、令和8年5月から新たな防災気象情報の運用開始により、避難判断の目安が明確になりました。

職員は配属体制を直ちに見直す必要はないですが、名称変更を行うなど、より分かりやすい体制を整えるよう努めます。

【問】避難所となる小学校で炊き出しを行う際、校内にある給食調理室を使用することはできますか。

【答】災害時、学校の屋内運動場や一部の特別教室は指定避難所として利用できますが、家庭科室や給食調理室は訓練時を含め利用できません。

《公明党議員団》堺谷 裕

地域の防災力向上について

【問】近年、我が国を取り巻く災害リスクはかつてないほど高まっております。市長は市政運営方針の中で、職員の防災士資格取得の推進や災害対策本部の運営訓練の実施を掲げられました。大規模災害時には、どの部署の職員であつても、避難所を立ち上げ住民をリードする専門知識が必要です。職員においては、防災士資格の取得を希望する意欲ある全ての職員が取得できるように、定員枠を広げる必要があると思いますが、いかが

【答】能登半島地震では、応援職員が災害対応の主体となつたことを踏まえ、貝塚市では災害時に職員が主体となつて対応できるように、危機管理部以外の職員にも防災士資格の取得を進めています。今年度は定員10名の募集に対して、16名の応募があり職員

次に、市民においては、自主防災組織をけん引する強力なリーダーを育てるため、防災士資格の取得費用を補助する制度を考へるとともに、本市において防災士養成講座を直接開催してはどうか。

【答】能登半島地震では、応援職員が災害対応の主体となつたことを踏まえ、貝塚市では災害時に職員が主体となつて対応できるように、危機管理部以外の職員にも防災士資格の取得を進めています。今年度は定員10名の募集に対して、16名の応募があり職員

その他の質問

- 第6次総合計画について
- ふるさと納税について
- 第45回全国豊かな海づくり大会「魚庭（なにな）の海おおさか大会」について
- 本市のブランディングについて
- 産業戦略について
- 道路、公園、下水道等のインフラ及び公営住宅を含む公共施設等の広域連携について
- 職員の人材確保とAIの利活用について
- 公園墓地について
- 子育て支援について
- 南海貝塚駅周辺について
- 南海二色浜駅周辺の整備について
- 上下水道について
- 消防本部について
- 市立貝塚病院について
- 学校給食について
- 学校教育について
- 歳入の確保の取組について

ただし、生命の安全が危ぶまれる大規模災害時はこの限りではなく、学校教育活動の再開への影響も十分考慮した上で、必要な施設の利用について総合的に判断します。

令和8年度補正予算(肉付け予算) 予算特別委員会で審査

3月定例会に提出された当初予算は、予算編成期に市長選挙が行われたことから経常的経費を中心とした骨格予算となっていました。6月定例会では政策的経費を肉付けした補正予算が提出されました。

市議会では、予算特別委員会を設置し、6月23日・24日に一般会計補正予算(第2号)、介護保険事業特別会計補正予算(第1号)及び病院事業会計補正予算(第1号)について慎重に審査し、6月29日に本会議で原案どおり可決しました。



委員会で出された主な質疑

【問】豊かな海作り大会の目的に沿った形で公民連携をアピールしていくために、貝塚市の環境政策としてどのようなメッセージを発信しますか？

【答】二色の浜の美化活動や、近木川および津田川のクリーンキャンペーンなどの地域住民や関係団体と行政との連携した清掃活動など様々な取組を周知・啓発するよう努めます。

【問】防犯灯電気料金の補助金について電気料金の1/3を補助することですが、さらに引き上げられませんか？

【答】町会・自治会支援の重要性は理解しておりますが、まずは1/3の補助額から始めます。今後も町会側と意見交換を重ねた上で、補助金の増額等を検討していきます。

予算特別委員会

委員長 阪口 勇
副委員長 八野 裕嗣 (大阪維新の会)
委員 蓮池 陽佑 (大阪維新の会)
" 前園 隆博 (公明党議員団)
" 田畑 庄司 (自由市民)
" 南野 敬介 (新政クラブ)

【問】市民から「早く合葬墓が欲しい」という要望もある中、議論が進んでいないと思います。迅速に議論を進めていきたいのですが、どのように考えてますか？

【答】今回、アンケートをとってその情報を収集するとともに、民間の霊園や寺院の状況等も把握した上で、今後の市の墓地のあり方について検討していきたいと考えております。

【問】貝塚駅東側地区の基本設計業務を実施するにあたり、関係者との調整について市は今後どのように進めていくつもりですか？

【答】まちづくり基本計画を策定するにあたって、今までも関係者と合意形成を図りながら進めてきたところです。
引き続き、基本設計の実施にあたって関係者と丁寧な協議を重ねながら慎重に業務を進めてまいります。

【問】市立貝塚病院について、病院のサービスの向上として救急医療体制の充実等は、経営形態の検討と同時に議論していく重要なものだと思いますが、いかがでしょうか。

【答】市民の皆様にとって必要な医療機能の持続性をどのように確保していくかを検討しながらも、経営の検証を進めてまいります。救急医療体制の充実等につきましても、非常に重要な課題であると認識しておりますので、検証を進めてまいります。

予算特別委員会の意見

1. 豊かな海づくり大会を契機に、さらなる環境意識の向上と本市の盛り上がりにつながるよう努められたい。
1. 防犯灯の電気料金について、さらなる支援の拡充を図られたい。
1. 公園墓地事業について、合葬墓の検討など早急に実施されたい。
1. 南海貝塚駅東側地区基本設計業務について、地域と連携し着実に進められたい。
1. 市立貝塚病院について、持続可能な病院経営を図られたい。

市議会のホームページについて

- 会議中継
本会議の中継及び録画映像(過去数年分)を見ることができます。
- 会議録の閲覧・検索
- 議案書、議案概要等の公開
本会議の数日前に公開しています。
- 会議日程等のお知らせ



議場見学

～議場に来てみませんか～

市議会では、議会を身近に感じてもらうため、以下の日程で議場見学を実施します。実際に議場に入り、事務局職員が15分～20分程度でご案内します。

開催日：8月 5日(水)
8月 6日(木)
8月12日(水)
8月14日(金)
8月18日(火)

時 間：午前10時～正午
午後 2時～午後4時



受付場所：市役所海側のエレベーターで6階議会事務局へお越しください。
※事前予約不要です。上記日時のご都合のよい時間にお越しください。



市議会だよりをスマートフォンで見ることができます！



利用方法は、マチイロアプリをダウンロードし、「お住まいの地域」に貝塚市を登録してください。
アプリは無料でダウンロードできますが、通信料は利用者負担となります。



第3回(9月)定例会の予定

日 程	会 議	傍聴場所
8月24日(月)	議会運営委員会	協議会室
9月2日(水)	本会議(提案説明・一般質問)	議 場
9月3日(木)	本会議(予備日)	議 場
9月7日(月)	厚生文教常任委員会	協議会室
9月8日(火)	総務産業常任委員会	協議会室
9月9日(水)	議会運営委員会	協議会室
9月15日(火)		
9月16日(水)	決算特別委員会	協議会室
9月17日(木)		
9月18日(金)	議会運営委員会	協議会室
9月25日(金)	本会議(委員長報告・採決)	議 場

開会時間は、いずれも午前10時です。

市議会だより編集委員会

本号から私たちが編集を担当することになりました。これからも親しみやすい紙面づくりに取り組みますので、よろしくお願いいたします。



委員長
川岸 貞利



副委員長
谷口 美保子



委員
堺谷 裕



委員
田畑 庄司



委員
中西 真知子



委員
阪口 芳弘